News Release

経済産業省
四国経済産業局

令和６年８月２７日

四国のものづくりの魅力を再発見する
体感型イベントを開催します！

四国経済産業局では、地域の魅力を再発見してもらうため、四国４県の気候・風土の中で生まれている四国のこだわりの逸品をマテリアル（素材）ごとに紹介する展示会及びワークショップ「四国クラフト 2024－徳島・香川・愛媛･高知のものづくりに出会う－」を開催します。

開催概要

１．日時
令和６年９月２７日（金曜日）、２８日（土曜日）１１：００～１７：００

２．会場
【メイン会場】丸亀町レッツホール／カルチャールーム２
（香川県高松市丸亀町１－１高松丸亀町壱番街東館４階）
【サテライト会場】讃岐おもちゃ美術館
（香川県高松市大工町８－１くるりん駐車場１階 shop・café エリア）
【サテライト会場】アジサーキュラーパーク（香川県高松市庵治町丸山 6391－19）

※ ワークショップはメイン会場のみでの開催です。

３．内容・プログラム
別添チラシのとおり

４．その他
・ 大阪・関西万博機運醸成イベント「四国の未来共創セミナー」（主催：四国経済産業局）を同時開催します。
日時：令和６年９月２７日（金曜日）、２８日（土曜日）１３：３０～１７：００
会場：高松丸亀町壱番街前ドーム広場（香川県高松市丸亀町１－１）

・ 本イベント会場周辺において、四国ものづくりに出会う『mono:mono マルシェ』（主催：株式会社 tao. 協力：高松丸亀町商店街振興組合）が同時開催されます
日時：令和６年９月２７日（金曜日）、２８日（土曜日）１２：００～１７：００
会場：高松丸亀町壱番街前ドーム広場（香川県高松市丸亀町１－１）

（本発表資料のお問い合わせ先）
四国経済産業局地域経済部新事業推進課長　濱田
担当者：　安田、高橋
電　話：０８７－８１１－８５１７（直通）
ＵＲＬ：　https://www.shikoku.meti.go.jp/

※本発表資料以外のお問い合わせは総務課広報担当（087-811-8505）にお願いします。

SHIKOKU CRAFT 2024

木 | 繊維 | 紙 | 革 | 石 | 硝子 | 土 | 金属

AWA SANUKI IYO TOSA

SHIKOKU CRAFT

※イラストはイメージです

SHIKOKU CRAFT 2024

徳島・香川・愛媛・高知のものづくりに出会う

2024.9.27(Fri)/28(Sat) 11:00-17:00

8つのマテリアルから生まれる無限の可能性を、展示会やワークショップでお楽しみください

メイン会場

丸亀町レッツホール／カルチャールーム２（高松丸亀町商店街）

香川県高松市丸亀町1-1 高松丸亀町壱番街東館４階

サテライト会場

讃岐おもちゃ美術館

高松市大工町8-1 くるりん駐車場１階
shop･cafeエリア

AJI CIRCULAR PARK

高松市庵治町丸山6391-19

入場無料

主催：経済産業省 四国経済産業局／運営：株式会社パソナ JOB HUB　後援：徳島県、香川県、愛媛県、高知県、高松市、
四国アライアンス、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会　協力：高松丸亀町商店街振興組合、株式会社tao.（mono：monoマルシェ主催）
＜ 令和６年度知財活用に繋がるオープンファクトリー実践の広域展開支援事業 ＞

TEAM EXPO 2025

WWW.SHIKOKUCRAFT.GO.JP

INFORMATION 平日 9:00−17:00 株式会社パソナ JOB HUB（担当：日沖・植草）
080-2195-0467 / 080-3433-0219

四国クラフト2024

四国の、ものづくりの「今」を知る！

徳島（阿波）、香川（讃岐）、愛媛（伊予）、高知（土佐）の気候・風土の中で生まれている
四国のものづくりをマテリアル（素材）ごとに紹介します。
素材が同じでも、デザインや技法で多様なプロダクトを集めました。
作り手の想いに触れながら、ものづくり遍路をお楽しみください。

8：MATERIAL×ものづくり

展示×ワークショップ
出展者情報 WWW.SHIKOKUCRAFT.GO.JP
会場：丸亀町レッツホール／カルチャールーム2

アワ・サヌキ・イヨ・トサ

WOOD 木

中央に深い山脈を抱く四国は木はもっとも身近な素材で、古くから木地や木工の職人が活躍し、スギやヒノキなどの植林も盛ん。器やインテリア、バッグ、知育玩具などの木製品は多岐に渡り、ろくろ挽きや家具制作、桶製造、漆芸による加飾などの技術も多彩。新たなアイデアと共に次世代へ継承されている。

FIBER 繊維

香川県の保多織（ほたおり）は木綿で織られ、夏には通気性が良く、冬には空気を含み暖かい。吉野川流域の豊かな土壌で培われた徳島県の藍染は、繊維を美しく丈夫にする。四国の気候に応じた繊維や染色、縫製技術が発達してきたが、近代以降は技術の発展が進み、帽子や手袋などの製造では高いシェアを誇る。

PAPER 紙

土佐和紙に代表されるように、四国の山間部では楮（こうぞ）の生産が盛んで、特色ある紙づくりが伝承されてきた。丈夫でしなやかな和紙は書画だけでなく、現在では照明器具にも利用されるなど、温かい風合いが人気。また和紙を貼った団扇は強く仰いでも破れにくく、長期間使い続けることができる。

LEATHER 革

手袋シェア日本一を誇る香川県東かがわ市をはじめ、皮革産業が根付いている四国。デザイン性の高さと加工・縫製技術が脈々と培われ、近年ではステッチを活かした斬新な製品も増えている。また藍染など四国ならではの素材と掛け合わせ、さらなる経年変化を楽しめるものづくりへと展開している。

STONE 石

中央構造線が東西に連なる四国は、様々な石が産出される。特に香川県高松市の牟礼・庵治地区で採れる石は最高級石材とされ、結晶が生み出す斑（ふ）模様や艶やかな質感が美しく、墓石として重宝されてきた。庵治石産地には多数の職人が集住し、技術を継承しながら新たな製品の開発にも力を入れる。

GLASS 硝子

四国ならではの素材を用いたオリジナリティあふれるガラス作品が次々と生まれている。香川県の庵治石の石粉やオリーブの枝の粉末を融かし込んだ作品や、香川県広島で採れる青木石の粉末や廃ガラスをリサイクルした作品など、限りある資源を活用した新たなプロダクトが、循環型社会を体現している。

SOIL 土

愛媛県の砥部焼、徳島県の大谷焼などの産地を有する四国。砥部焼は厚手で割れにくい鉢や椀などとして、大谷焼は藍染液をつくるための甕として発展してきた。近年では自由な発想の窯元も増え、暮らしに寄り添う器を展開している。また香川県では装飾的な屋根瓦からヒントを得た器なども生まれている。

METAL 金属

香川県の打出し銅器や高知県の土佐打刃物などの道具は、使い勝手の良さを考えてデザインや製造技術が磨き上げられてきた。手入れをすれば長く使えて、色や艶に経年変化が出るのも金属工芸の魅力。繊細な表現を生かした自然物をモチーフとしたものなど、新たな視点からの工芸品も登場している。

同時開催のご案内

参加無料／会場：高松丸亀町壱番街前ドーム広場

開催時間 13:30-17:00

SHIKOKU×EXPO2025 四国の未来共創セミナー

2025年に開催される大阪・関西万博、そのテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。本セミナーでは、万博についての講演や取り組みの紹介、ものづくり職人によるクロストークなどを行います。四国の魅力を再認識し、万博を機に四国の未来共創に加わってみませんか？

主催：経済産業省 四国経済産業局／運営：株式会社パソナ JOB HUB　後援：徳島県、香川県、愛媛県、高知県、高松市、**参加お申し込み⇧**
四国アライアンス、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会　協力：高松丸亀町商店街振興組合、株式会社tao.（mono:monoマルシェ主催）

開催時間 12:00-17:00

ようこそ！高松の商店街で 四国ものづくりに出会うマルシェ mono:mono

主催：株式会社tao.　協力：高松丸亀町商店街振興組合